

なすび

第 27 号

目次

1p 1年を振り返って
1p~3p 行事報告
4p 部活報告、今後の
予定、編集後記

栃木県那須学園

〒329-2132

矢板市沢800

TEL 0287-43-0573

FAX 0287-43-6886

メール nasu-gakuen

@pref.tochigi.lg.jp

発行日 平成30年3月10日

☆行事報告☆

関東少年文化祭

一月一日

一月一日〇日茨城県常陸太田市にて関東少年文化祭が行われました。関東の一二施設が一堂に会し、この日のために準備した演目を発表する場です。那須学園はもちろん吹奏楽発表。

今年度六月に本格的な活動を開始し、音出しや音階練習など基礎から積み上げ少しずつ作り上げてきたものを初めて大勢の人の前で発表するとあって、児童も職員も朝から緊張は高まるばかりでした。それでも今できる精一杯の演奏をすることができ、同じく児童自立支援施設で暮らす仲間の頑張りにも多くの刺激をもらい、また一つ成長する機会になったと思います。

たかはらマラソン 一月一二日

陸上部五名と矢板たかはらマラソンに参加しました。九月から練習を始め、自分の力を試す初めての場となったことはもちろん、はじめて大会に参加するメンバーもおおり、緊張した様子も見られました。走り終えた後、自分の記録に満足する者はいなく、次の大会では「もっと上を目指す」と前向きな気持ちを持ってくれたことは良かったです。また、今回はみんなで温泉に入ってきました。

〓年度末を迎えて〓

平成二九年度もうすぐ終わりを迎えようとしています。今回は園長の立場から那須学園での一年を振り返っていただきました。

「一年を振り返って」

園長 藤原崇夫

昨年四月、ようやく膨らみ始めた桜のつぼみに出迎えられ、那須学園の玄関に立ちました。初めての施設勤務という緊張感の中で、一年間やっていけるのかという不安と期待が入り交じった初日でした。最初にしなければならなかったのは、職員や分校の先生、そして子どもたちの顔と名前を一致させること。もともと物覚えが良くない上に、近ごろ記憶力がめっきり低下した自分にはこれがまた一苦勞で、あきれるほど多くの時間がかかってしまったことを白状しておきましょう。

学園では多くの行事で見えるもの聞くもの初めてのことばかり。勝手が分からない中であれこれ聞きまくりの毎日だったので、総括補佐や課長をはじめ職員にはさぞかし迷惑だ

ったと思います。そんな中で、たけこの掘りや沢地区との合同運動会、田植え体験学習など、普通の職場ではまず体験できないことに数多く携わることができました。そういえば、写真も思う存分に撮らせていただきましたっけ。

夏が来て各種スポーツ大会に向けての練習が本格化していくと、子どもたちも日に日に逞しさを増していったように感じます。梅雨空の下で泥んこになりながら、ひたすら白球を追っていた野球。水に浮くことさえままならなかったプールの初日。叱咤激励の声にべそをかきながらボールを追いかけたバレーボール。そんな猛練習が実を結び、終わってみれば野球、水泳男子、バレーボール、卓球団体でそろって三位入賞を果たし、さながらブロンズ・コレクターとでもいべき結果を残してくれたのは立派でした。

吹奏楽では、それまで楽器に触ったこともなかった子どもたちが初めて音を出すことを覚え、いつのまにか立派な演奏ができるようになって

いくその過程に、素直な感動を禁じ得ませんでした。

年度はじめに発行された「なすび」には、新年度を迎えるにあたって、これまで培ってきた経験を活かして、新米施設長だから気づくこと、行政職だから見えてくるものを強みにした仕事をした、といった旨を書かせていただきました。一年が経ち、果たしてそのような仕事ができるのだろうか、自分がここにいたという足跡が残せたのだろうかと自問してみますが、お恥ずかしいことに疑問しか残らないことに気づきます。ただ、わずか一年間の学園勤務でしたが、それまで三七年間の県職員生活では経験できなかったことを凝縮して一気に味合わせてくれたような密度の濃い一年間だったと実感しています。ありきたりの言葉を承知で言わせてもらえば、私のこれからの人生に非常に大きなものを残してくれた一年でした。支えてくださった皆さま、本当にお世話になりました。そして、どうもありがとうございました。

た。職員も児童と一緒に大会に参加し、汗を流したのですが、最後にみんなで入った露天風呂は最高でした(笑)



収穫感謝祭

一月二四日

今年度も秋のイベント、収穫感謝祭を行いました。一年間で学園内で収穫された作物や毎日の食事に感謝する行事です。今年も学園の田んぼで育てた餅米を使って餅つきを行いました。春に素足で直接田んぼに入って苗を植えて、夏には草取り、秋には育った稲を刈り、はぎ掛けを行った学園産の餅米です。

餅つきは初めて経験する児童ばかりで悪戦苦闘の展開でしたが、最終的にはつやつやとした美味しいお餅がつき上がりました。その後の会食では小学生と農場担当職員とがコラボして野菜クイズを発表。小学生の出した難題に児童、職員が必死に回答し何とか全問クリアすることができました。

当日のイベントに協力して下さい、日頃から美味しい食事を作ってくれ

ている食堂棟の調理員さんや、学園の田んぼや畑を管理して野菜を育ててくれている農場担当者へ感謝の気持ちを感じるとともに、食べ物の有り難みも感じられた一日となったことでしょう。



おいしくできるかな

関東少年卓球大会

一月一日

今年度一〇名でスタートした卓球部。最後の最後でチームの中心選手だった三年生が二人抜けてしまったことは大変残念でしたが、その分残った児童が本場に良くやってくれ団体戦三位、個人戦ダブルス準優勝、小学生シングルス優勝、と素晴らしい結果を残してくれました。特に小学生の二人は頑張ってくれてこの二人なしでは団体戦の三位という結果もなかったと思います。この素晴らしい結果を自信にしてこれからの生活をよりよいものにしていくってほしい、そう願っています。

しおや湧水の里マラソン大会

一月一〇日

しおや湧水の里マラソン大会に今年も参加してきました。今年は、男

女の陸上部七名と職員もエントリーして一緒に走りました。この大会は、毎年学園の近くで開催されており、田畑の緑に囲まれた自然豊かな場所を走って行きます。男子中学生五キロ、中卒生十キロ、女子は三キロのコースで、途中厳しい登り坂もありますが、出場した部員達は、沿道からの暖かい声援に背中を押され、一生懸命走ることができました。中でも、中卒生の児童は大人に混じって十キロのコースで、なんと六位！その他出場した全員が完走でき、また地域の大会に参加することで、児童にとっては日頃の陸上部の練習の成果を発揮するだけでなく、一般の出場者の力走を見ることができたり、大会のマナーや緊張感を味わったりと、とても良い経験になった一日でした。



ラストスパートだ～!

クリスマス会

一月一七日

十二月、保護者関係者を招待してクリスマス会が行われました。この会では各寮による劇や日頃行ってい

る吹奏楽を披露しました。劇は少ない練習時間の中ではありましたが、恥ずかしがる児童の手下となるようにと多くの職員が参加し、主役は児童なのか職員なのかわからないくらい楽しいクリスマス会となりました。また、今年も寮長にとっても似たサンタクロースが来てくれ、場を盛り上げてくれました。来年もサンタクロースに来てもらえるようなクリスマス会をしたいですね。



席書大会

一月九日

平成三〇年の最初の登校日である一月九日に、席書大会が行われました。書初めに書く文字は昨年末に、分校の国語の時間に考え、その文字に決めた理由を作文しておきました。当日は、文字に思いを込めながら、三S(静かに・集中して・精一杯)の約束の下、一生懸命自分の決めた文字と向き合いました。そして次の時間は、それぞれの書初めを持ち寄り、

みんなの前でその文字に決めた理由とともに発表しました。初めて書道をする子、左利きで書きにくそうにする子・・・筆と墨に苦戦しながらも、一人ひとりが納得のいく作品を仕上げることができました。寮と分校の先生方の審査で、最優秀賞、優秀賞を選びました。今年度の最優秀賞は二作品あり、三年生が書いた「粉骨碎身」と二年生が書いた「温故知新」でした。その他、特別賞も三作品選ばれ、文字に込められた決意は立派なものでした。席書大会は毎年恒例の行事となっていますが、新年が始まって、厳かな気持ちを作ることができ、新たな思いを確認する行事となっています。



新年会食会

一月九日

お正月明けて冬休みも終わった登校初日。席書大会の昼食では、新年の挨拶もかねて児童・職員全員が一堂に会し、新年会食会が行われました。普段は各寮で食べている食事ですが、全員でテーブルを囲み、お寿司や豚汁、デザートのエクレアをい

ただきながら、新年をお祝いします。園内では滅多に食べられないお寿司を美味しくいただきました。席書大会で発表した今年の目標などについて会話も弾みました。豚汁もかわりし、大満足の会食会となりました。児童も職員も新年の目標も新たに、良い一年のスタートが切れました。

スキー教室 一月十二日・十九日
今年度は場所を変えて、県内のエーデルワイススキーリゾートで実施しました。初体験の児童が多かったのですが、今回から県庁スキークラブの指導員七名の方にインストラクターをボランティアで行っていただきました。

本格的なスキー教室となり、二回とも天気にも恵まれたこともありとても有意義な体験ができました。児童たちの多くがスキーの腕を上げて颯爽とグレンデでシユプールをつけていく姿が印象的でした。



ふれあいコンサート

一月二七日

一月二七日、今年も矢板市内の保育園、小中学校が集まって吹奏楽の

発表を行いました。那須学園は前回の関東少年文化祭のあと新曲に取り組み「RAIN」「ヘビローテーション」「栄光の架け橋」の三曲で臨みました。吹奏楽を始める過程も日々の練習量も他の学校とは大きく異なりますが、自分たちの精一杯の演奏をしようという心を入れて演奏しました。上手いかないところもありましたが、たくさん拍手をもらうことができ大きな自信となりました。自分たちよりはるかに年下の子や同年代の子達が上手に演奏する姿をみていい刺激を受けた一日となりました。

立志式

二月二日

二月二日、中学二年生が立志の日を迎えました。

児童たちは立志の作文を書きながら、自分の内面を整理し、正直な気持ちをはっきりとつとつ丁寧に表示するチャレンジを繰り返しました。作文発表の場面では、素直な気持ちでつづられた「誓いの言葉」を、自分を支えてくれる方々や未来の自分に向けて、力強く宣言していました。この行事を通して、児童たちはそれぞれが持つ「個性の豊かさ」や「未来への可能性」を感じとることができたと感じています。



栃木県児童福祉施設文化祭

二月四日高根沢町民ホールにて児童福祉施設文化祭が行われました。県内の児童福祉施設が一堂に会し演目発表を行いました。那須学園としては今年度の吹奏楽発表の集大成を飾る舞台です。またそれだけでなく、自分の出身施設やこれからお世話になる施設など繋がり強い児童も多くいるため、それぞれが様々な想いを持つての参加となりました。

大きな舞台での発表も三回目となる少しですが貫禄が生まれます。先日のふれあいコンサートでの刺激もうまく作用し、これまでで一番の演奏ができたのではないかと思います。

園内マラソン大会

二月八日

二月八日、天気にも恵まれ、中学男子は四・二km、中学女子・小学生は三・〇kmの距離を全員が走りきることができました。大会本番では「他人との勝負に勝つ」ことを意識し、多くの児童が心に響く走りを見せてくれました。

また今年度から午後の部として、寮對抗駅伝大会を実施しました。寮の一員として、チームのためにたすきをつなぐ姿やチームの仲間を全力で応援する姿、寮職員が児童と共に走り汗を流す姿を見ることができ、初の試みとしてはとても良い行事になりました。これが伝統となり、来年度は全職員で実施したいと考えています。

最後になりますが、安全のためにコースの雪かきや、お汁粉の用意をしてくださりありがとうございます。たくさんの方の支援のおかげで無事に大会を運営することができました。ありがとうございます。



☆部活動報告☆

吹奏楽部

二月四日の児童福祉施設文化祭をもって今年度の吹奏楽部の活動がすべて終了となりました。最初は思うように上達しないことに苛立つことも少なくなかったと思います。それでも地道な練習の成果を重ね少しずつ上達していきました。3回の大きな舞台を経験する中で少しずつ自信もつき、最後には始まった頃では想像もできないほど堂々とした演奏となりました。那須学園の活動の中でこれほど児童と職員が共に切磋琢磨して作り上げる活動は他にありません。この活動を通して何か一つでも児童の心に残るものがあればいいと思います。一年間ありがとうございます。

マラソン部

十二月十二日から二月八日の大会まで、中学男子は四・二km、中学女子・小学生は三・〇kmの距離を「自分の限界に勝つ」ことを目標にして取り組んできました。

「目標」というものを強く意識させることで、各自が目標に向かって「本気」で走り、達成できたときは「本気」で喜び、達成できなかったときは「本気」で悔しがっていました。また「目標」を達成した次の練習ではそこで満足せず、さらに高い目標を立て、それを継続し、日々成長していく姿を見ることができました。

マラソン部を通じ、「目標に向けて頑張ることの大切さ」「辛いことに立ち向かうことの大切さ」を学んでくれていれば幸いです。また児童とともに走ったり、最後にお話をしてくださったりしてくれた先生方がありがとうございます。

野球部

平成三〇年の野球部が二月中旬からスタートしました。昨年度は惜しくもあと一勝で全国大会の切符を逃した悔しさもあり、今年こそは全国大会出場！と意気込み、走り出したのは良かったのですが…。まだまだそのレベルまではほど遠い状態です。毎日、基本動作の反復練習や野球部の一員である（チームの一員である）自覚をもたせる練習ばかりを

行っています。

経験のない児童が多く、まずはグローブを使わず、素手でボールを掴む練習からのスタートです。慣れてきた頃からグローブを使用してキャッチボールを始めましたが、最初は球拾いに行っている時間の方が長いのでは？と思うほど厳しい状況でした。ただ、子供の成長はすごいものです。練習の度にぐんぐん上達していきます。

野球部の活動は七月上旬の関東少年野球大会まで続きます。活動を通して、仲間の大切さや集団スポーツの難しさ、楽しさなどを感じさせたいと考えています。単に運動の上達を目的とせず、人としての成長に繋がられたらと思います。監督の私も野球部の活動最終日まで、共に泥だらけになって白球を追いかけたいです。

バレー部

今年もバレーボール部の活動が始まりました。受験勉強に励んでいる中学三年生を除く、三人でのスタートです。トラブルが続く、チームとして一つになるには時間がかかりそうですが、昨年の経験と、陸上で身につけた頑張る力を活かし、練習に励んでほしいと思います。

バレーボールを通して礼儀を身につけ、仲間の大切さや一生懸命になれることの素晴らしさを少しでも多く感じてほしいです。人数は少な

くても一人一人が大きな声をだす！ということ、これから声が枯れる予定です…。まだまだ始まったばかりですが、これからの成長に期待し、頑張りたいです。

今後の予定

三月一四日 卒業生を祝う会
三月二三日 修了式
三月二七日 春季帰省

編集後記

桜の開花が聞こえはじめる三月ですが、まだ寒い日が続きます。那須学園の児童は皆さまに見守られながら、元気に過ごすことができました。季節は春へと移り変わり始め、子供達はそれぞれの目標に向かって進みます。

本年度も学園運営におきまして、さまざまなご支援・ご協力をいただき、ありがとうございます。今後もし子供達にあなたのご声援をよろしくお願いいたします。

育成課

松田・上坪・塩山・島野